

リモートデスクトップ接続マネージャユーザーズマニュアル

Windows サーバのメンテナンス用にリモートデスクトップ接続を利用する機会が増えてきています。リモートデスクトップ接続の設定は、「.rdp」ファイルとして保存することができます。WindowsXP(mstsc.exe のバージョンが 5.x)ではパスワードも(暗号化して)保存することができます。しかし、「.rdp」ファイルをたくさん保存したままにすることは、セキュリティ上の問題がたくさんあります。

リモートデスクトップ接続マネージャは、「.rdp」ファイルを使わずに、リモートデスクトップ接続を管理するためのツールです。

概要

「.rdp」ファイルをドラッグ&ドロップ

既存の「.rdp」ファイルをドラッグ&ドロップしても設定することができるため、既存の環境から移行することも簡単にできます。

注意 「.rdp」ファイル中のパスワードは DPAPI によって暗号化されていますが、DPAPI ではコンピュータによって異なったキーを利用するため、異なったコンピュータで作成した「.rdp」ファイルの暗号化されたパスワードはインポートすることができません。パスワードは空欄となります。

起動時にパスワード要求

リモートデスクトップ接続マネージャが起動したときにパスワードを要求するように設定することができます。

設定情報の保存

設定情報はデータベース「.mdb」ファイルに保存され、「.mdb」ファイルにはパスワードがかけられています。またデータベース中のパスワード欄は暗号化されて保存されていますので、PCを紛失したりあるいは盗難にあってもリモートデスクトップ接続のパスワードは簡単には破られないようになっています。

開発環境と動作確認 OS

開発環境

Windows XP Professional Version 2002+Service Pack2

Microsoft Visual C# 2008

動作確認 OS(クライアント用 OS)

Windows XP Service Pack2、Windows Vista、Windows 7

動作確認 OS(サーバ用 OS)

Windows Server 2003、Windows Server 2008

必要環境

.NET Framework 2.0 以上

(Windows XP ServicePack2 以降、Windows Vista は.NET Framework 3.0 標準収録、Windows 7 は.NET Framework 3.5.1 標準収録)

Microsoft Windows Installer 3.1

(Windows XP SP3 以降、Windows Server 2003 SP1 以降)

必要な権限

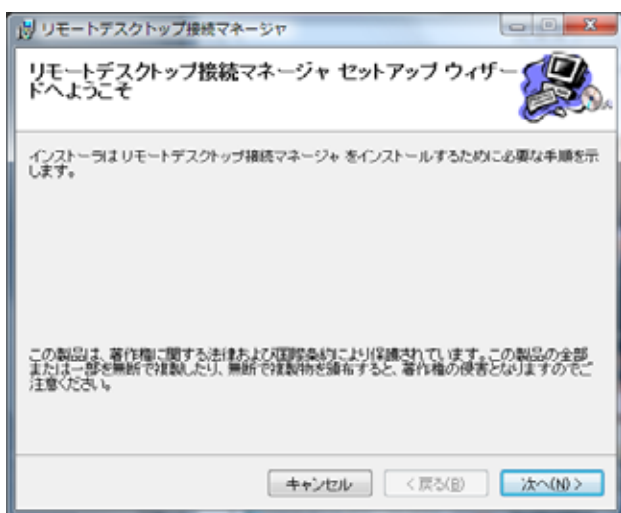
インストールは管理者権限のあるユーザで行なってください。

インストール

- 1 RDPMan.msi をダブルクリックします。



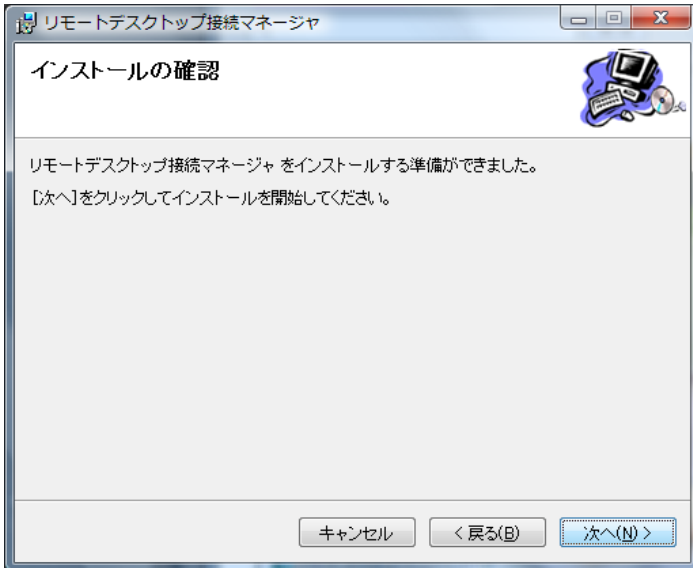
- 2 「次へ」ボタンをクリックします。



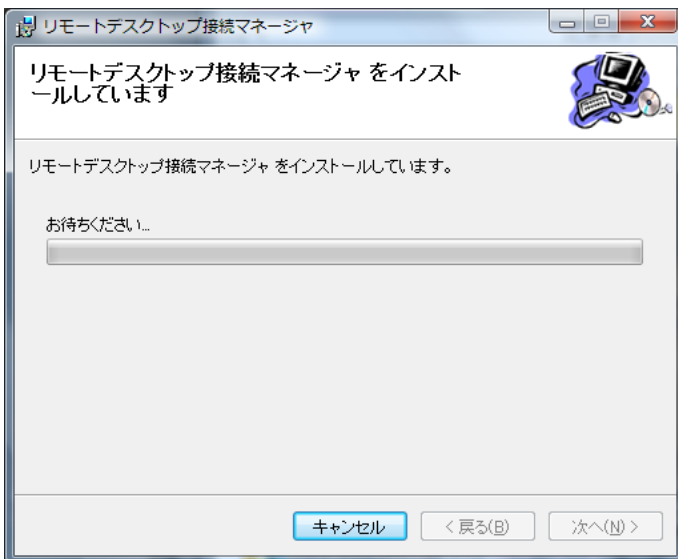
- 3 インストールするフォルダを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



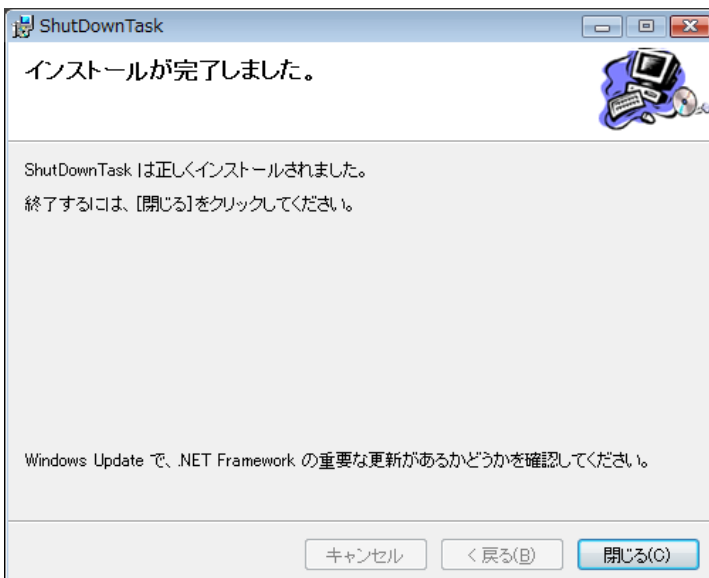
- 4 「次へ」ボタンをクリックします。



5 インストールが始まります。



6 終了したら「閉じる」ボタンをクリックします。



起動する

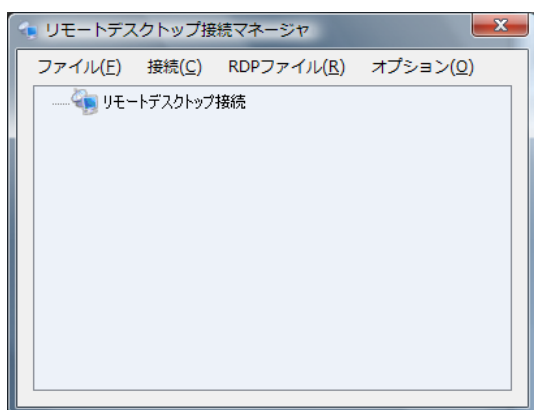
「リモートデスクトップ接続マネージャ」は、デスクトップに作られるリモートデスクトップ接続マネージャショートカットをダブルクリックするか、スタートメニュー - 「リモートデスクトップ接続マネージャ」 - 「リモートデスクトップ接続マネージャ」から起動してください。



メインウィンドウでの操作

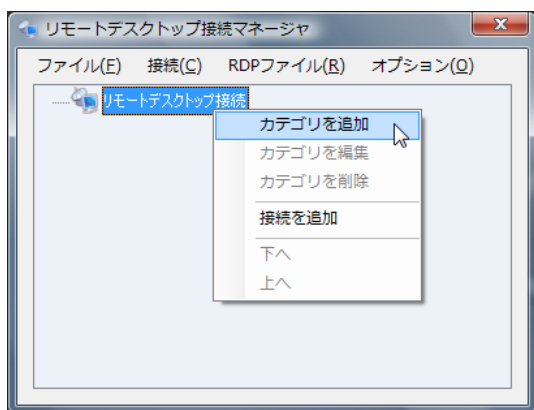
メインウィンドウ

リモートデスクトップ接続マネージャが起動したときのウィンドウは次のようになっています。



カテゴリの登録

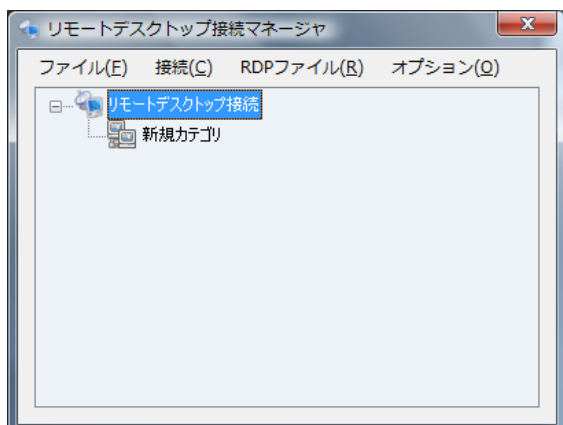
「リモートデスクトップ接続」アイコンで右クリックするとメニューが表示されます。



メインウィンドウでは、カテゴリと接続をツリー上に登録することができます。カテゴリは「営業部」などの分類を登録し、接

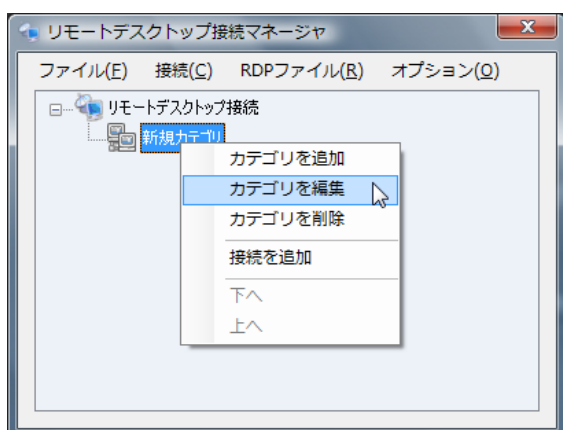
続にはリモートデスクトップ接続を登録します。カテゴリアイコンの下にカテゴリアイコンと接続アイコンを作成することができますが、接続アイコンの下にはなにも作成することはできません。

メニューから「カテゴリを追加」を選ぶと「新規カテゴリ」アイコンが追加されます。

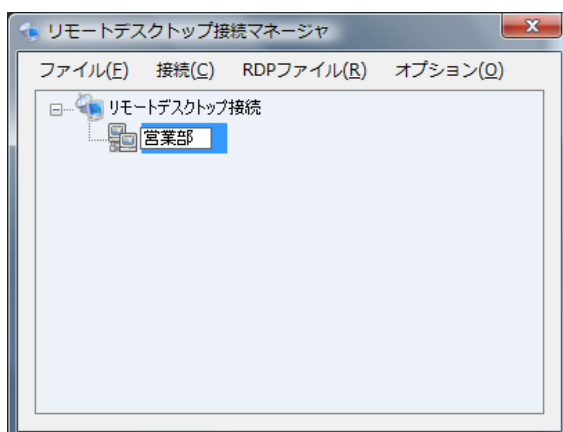


カテゴリの編集

編集(名前を変更)したいアイコンの上で右クリックし、メニューから「カテゴリを編集」を選びます。



アイコンの名前を変更することができますから、修正します。

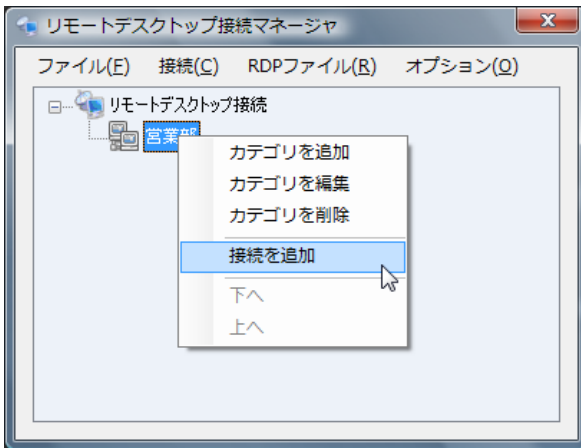


カテゴリの削除

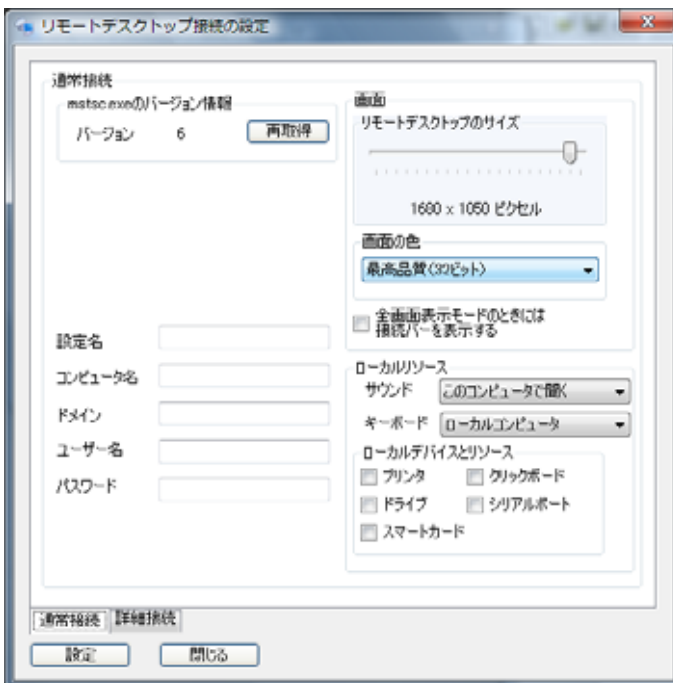
削除したいアイコンの上で右クリックし、メニューから「カテゴリを削除」を選びます。

接続の追加

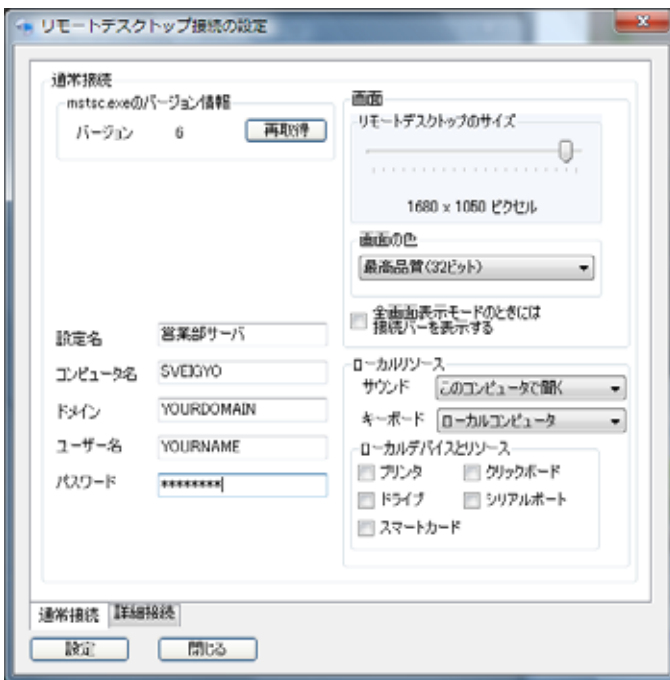
カテゴリアイコンの上で右クリックし、メニューから「接続を追加」を選びます。



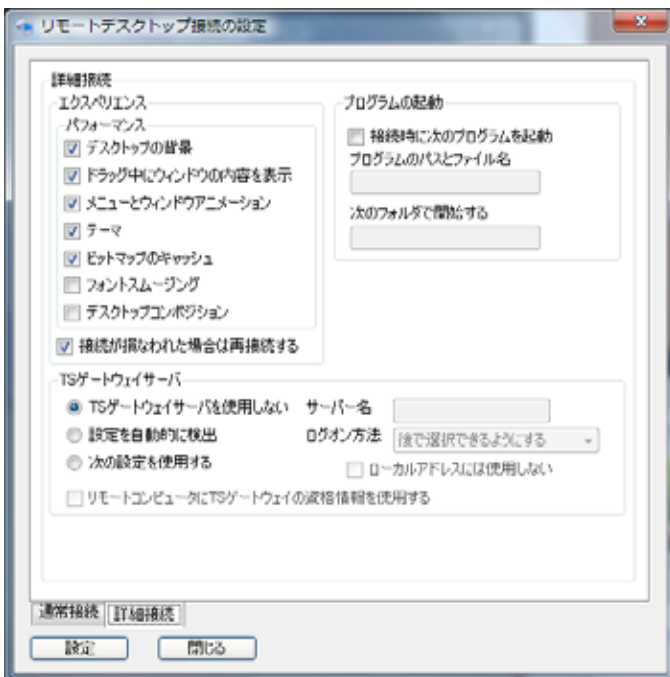
「リモートデスクトップ接続の設定」画面が表示されます。



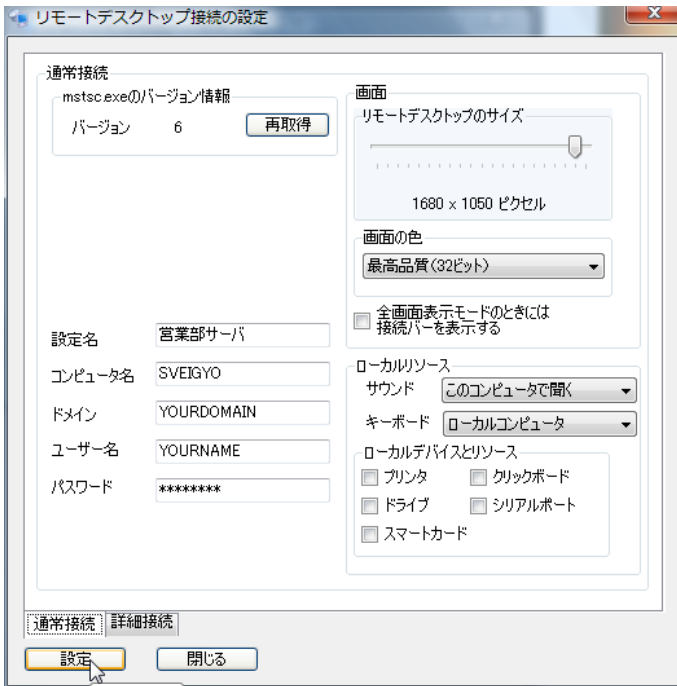
「設定名」「コンピュータ名」「ドメイン名」「ユーザ名」「パスワード」などを設定します。



「リモートデスクトップ接続の設定」画面は、「通常接続」と「詳細接続」の2つのタブに分かれています。設定の詳細は、リモートデスクトップ接続を参照してください。詳細接続画面で設定できる内容は、mstsc.exe のバージョンによって異なります。

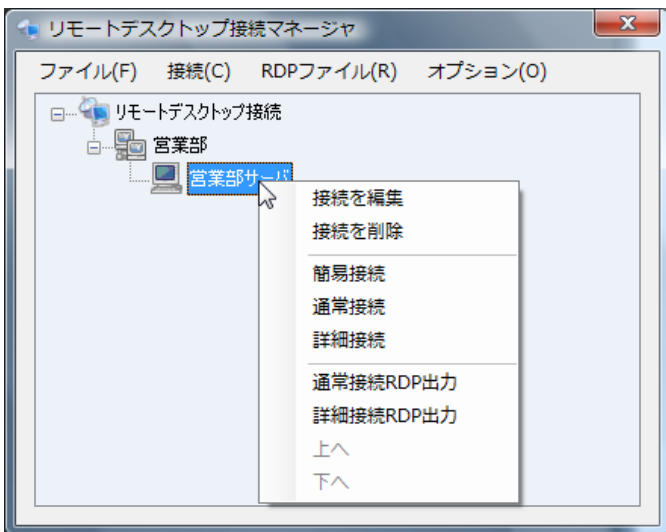


「設定」ボタンをクリックすると設定が反映されます。



接続の編集(修正)

接続アイコンの上で右クリックするとメニューが表示されます。「接続を編集」を選ぶと「リモートデスクトップ接続の設定」画面が表示されて、設定を修正することができます。



接続アイコンをダブルクリックしても「リモートデスクトップ接続の設定」画面が表示されて、設定を修正することができます。

「mstsc.exe」欄にあるバージョン情報はインストール時に取得しています。「再取得」ボタンは、mstsc.exe をバージョンアップしたときなどに利用します。通常は使用する必要はありません。

接続の削除

接続アイコンの上で右クリックするとメニューが表示されます。「接続を削除」を選ぶと接続アイコンが削除され、設定もデータベースから削除されます。

ドラッグ&ドロップ

RDP ファイルをメインウィンドウのカテゴリの下にドラッグ&ドロップすることができます。

リモートデスクトップ接続するには
接続アイコンの上で右クリックするとメニューが表示されます。「簡易接続」「通常接続」「詳細接続」を選ぶとリモートデスクトップ接続が起動して、接続します。

「簡易接続」

設定したコンピュータ名の情報にもとづいて接続します。ユーザ名やパスワードの入力が必要で、設定情報のほとんどが反映されません。

通常接続

「リモートデスクトップ接続の設定」画面の「通常接続」で設定した情報にもとづいて接続します。「詳細接続」で設定した情報は反映されません。

詳細接続

「リモートデスクトップ接続の設定」画面で設定した情報にもとづいて接続します。「詳細接続」で設定した情報も反映されます。

RDP ファイルのエクスポート

接続アイコンの上で右クリックするとメニューが表示されます。「通常接続 RDP 出力」「詳細接続 RDP 出力」を選ぶと「.rdp」ファイルを作成することができます。

通常接続 RDP 出力

「リモートデスクトップ接続の設定」画面の「通常接続」で設定した情報にもとづいて RDP ファイルを作成します。「詳細接続」で設定した情報は反映されません。

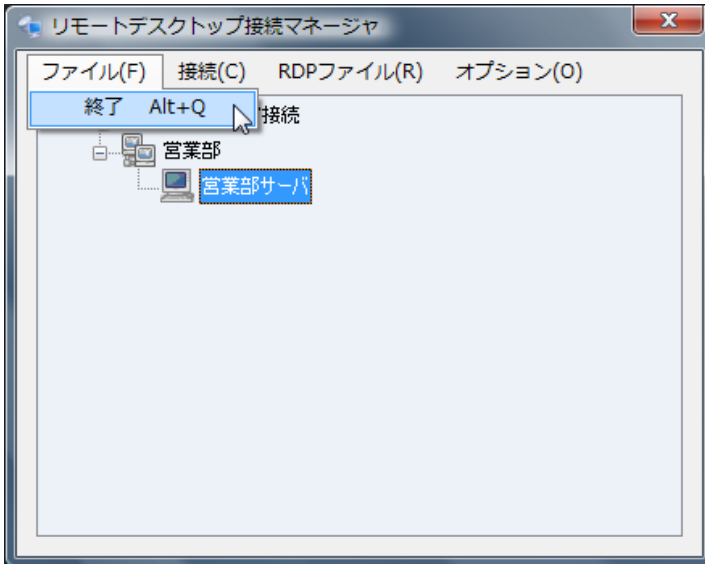
詳細接続 RDP 出力

「リモートデスクトップ接続の設定」画面で設定した情報にもとづいて RDP ファイルを作成します。「詳細接続」で設定した情報も反映されます。

メニューの操作

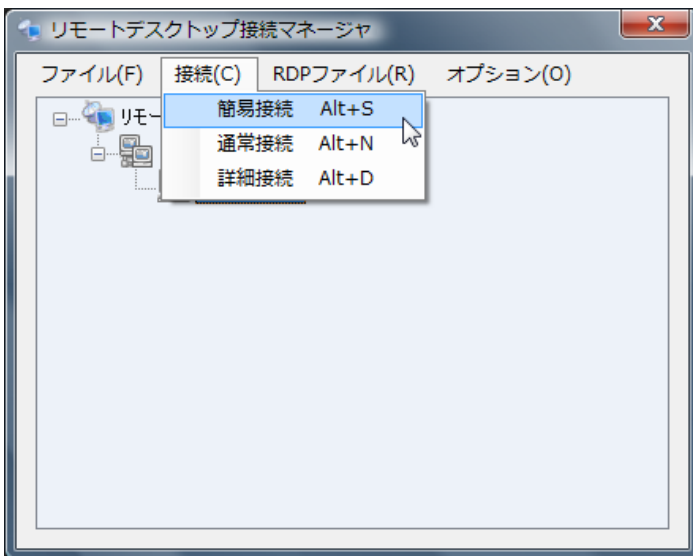
終了

「ファイル」メニューの「終了」を選ぶか、ALT キーを押しながら Q キーを押すとリモートデスクトップ接続マネージャが終了します。



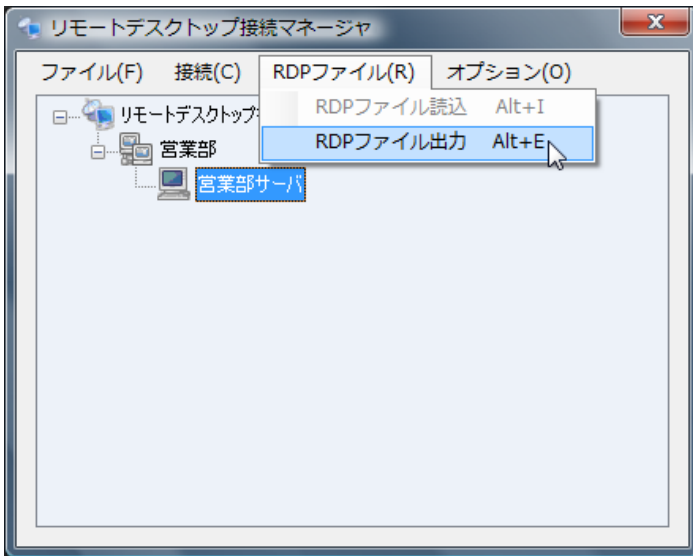
接続

「接続」メニューの「簡易接続」「通常接続」「詳細接続」を選ぶとそれぞれリモートデスクトップ接続が起動し、接続します。



RDP ファイル

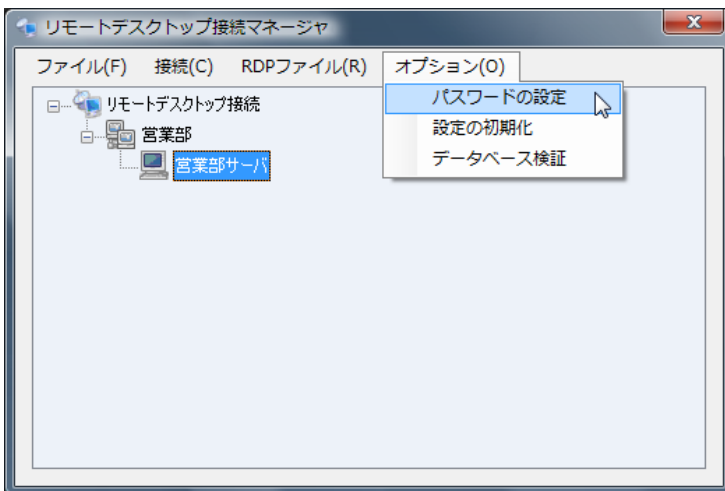
接続アイコンが選ばれているとき、「RDP ファイル」メニューの「RDP ファイル出力」を選ぶと接続アイコンの設定が RDP ファイルとして作成することができます。



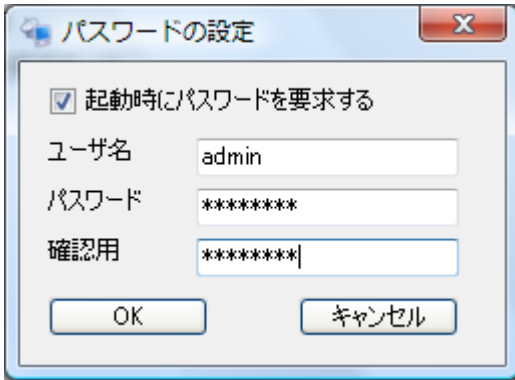
カテゴリアイコンが選ばれているとき、「RDP ファイル」メニューの「RDP ファイル読込」を選ぶと、RDP ファイルを指定して読み込み、接続アイコンが作成されます。

オプション

「オプション」メニューの「パスワードの設定」を選ぶと「リモートデスクトップ接続マネージャ」が起動するときのパスワードを設定することができます。



「パスワードの設定」画面では、「起動時にパスワードを要求する」をチェックするとパスワードを入力しないとリモートデスクトップ接続マネージャが操作できません。パスワードを要求するときは、ユーザ名とパスワード(確認用に同じパスワードを入力してください)も設定してください。



起動時にパスワードを要求するよう設定してあると、リモートデスクトップ接続マネージャが起動するとログイン画面が表示されます。ユーザー名とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。



注意

ログイン用のユーザー名とパスワードはデータベースに保存されています。パスワードがわからなくなると、データベースを削除し、インストールしなおさないとリモートデスクトップ接続マネージャが起動しなくなります。データベースには接続情報も保存されているため、設定した情報はすべて削除されます。

設定の初期化

データベースファイルやカテゴリ情報などが削除されて、初期化された状態になります。通常は実行する必要はありません。

データベースの検証

なんらかの事情により、ウィンドウ側の情報とデータベース情報に食い違いが生まれ、データベース側に参照することができないデータがあった場合、ウィンドウ側にはない接続情報をデータベース側から削除します。

その他

本ソフトウェアの利用に関して不具合などが発生しても補償はできません。